

Let's チャレンジ 生ごみダイエット



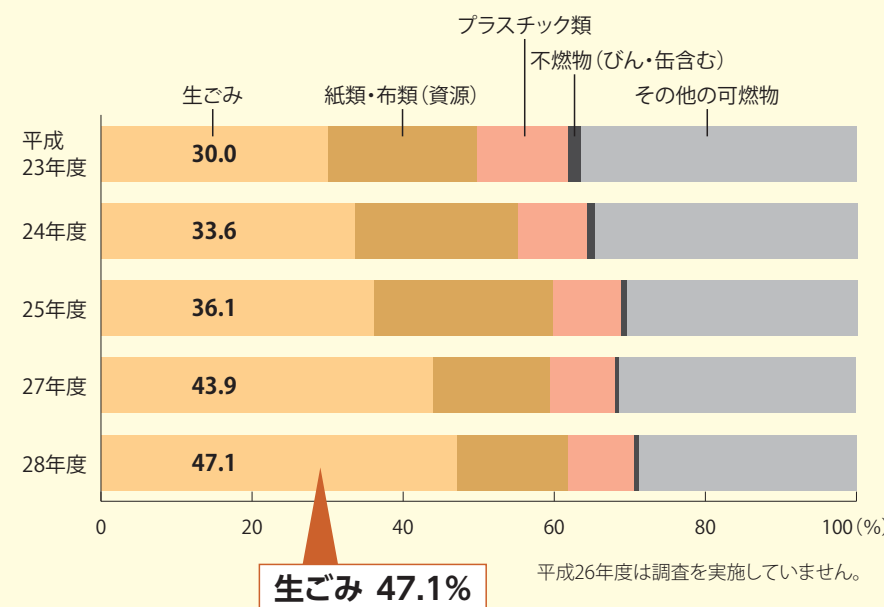
市は燃やせるごみの減量に取り組んでいます。家庭から出る燃やせるごみのうち、生ごみは約5割を占めています。生ごみは普段の生活の中のちょっとした工夫や、たい肥作りなどで減らすことができます。生ごみの減量にご協力ください。

問ごみ対策課・内線6756

燃やせるごみの約5割が生ごみです

戸別収集・有料化を実施した平成25年以降、市民の皆さんのご協力により資源の分別が進み、紙類・布類、プラスチック類の混入が大きく減ってきています。その一方で、生ごみの割合が伸びており、平成28年度には47.1%にもなってきます。廃棄された燃やせるごみの中には、使い切れなかった食材や未開封のままの食品類も多く含まれています。燃やせるごみをさらに減らすためには、生ごみをできるだけ出さないようにすることが大切です。

家庭から出た燃やせるごみの組成分析調査の結果



組成分析調査を行っています

市は、燃やせるごみの質や分別状況を確認するため、定期的に組成分析調査を行っています。収集車から無作為に抽出した約100kgの燃やせるごみを、職員が手作業で再分別し、ごみの分別状況の傾向を調査しています。



まずはここから チャレンジ 普段の生活でできること

買い物をするときや、ごみを捨てる時、外食するときなど、普段の生活の中のちょっとした工夫で生ごみを減らすことができます。できることから始めてみましょう。

無駄なものを買わない

- 冷蔵庫の中をときどき整理し、冷蔵庫の中身を確認してから買い物に行く
- 「安売り」「限定」などの言葉に惑わされず、本当に必要なものかよく考えてから買う



保存方法を工夫する

- 消費期限をこまめに確認する
- 野菜類はビニール袋にマジックなどで購入日と最終使用日を記入する
- 大量に作ってしまったおかずや、ごはん、魚、肉などは冷凍する



水気を切ってから捨てる

生ごみは70～80%が水分といわれています。ゴム手袋や市販の水切りグッズを使えば、手軽に水気を切ることができます。



都営上砂町1丁目
アパートの小関さん



しっかり水切りをすれば臭いも気になりません。密閉できる袋に入れて収集日まで冷蔵庫で保存するという方法も。

食べ残しを減らす

市は、小盛りメニューの導入やポスターの掲示など、食べ残しの減量に積極的に取り組んでいる飲食店を「食べきり協力店」として認定しています。食べきり協力店の1つ若葉町の「カフェレストランてくたく」(写真)では、食べきれないお客さんには声をかけて、店で用意した容器で料理を持ち帰ってもらっているそうです。



昼時はいつも満席になる人気のお店です

食べきり協力店についてくわしくは、市ホームページをご覧ください(右2次元コードからアクセス可)



生ごみを使って たい肥づくりにチャレンジ

ベランダで始める! たい肥作り

市は、たい肥作りをベランダや庭先で気軽に始められるように、「たい肥の素」と容器のセットをご自宅まで無料で配達しています。たい肥の素は、市内で収集されたせん定枝と給食の残渣から作られたもので、生ごみと混ぜて発酵させることでたい肥として家庭菜園や園芸などに利用できます。たい肥の素が必要な方はごみ対策課までご連絡ください(在庫状況により、品薄になることがあります)。

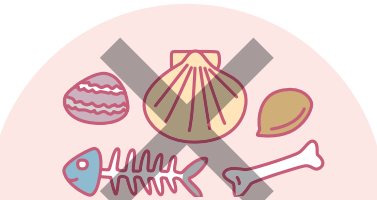
問ごみ対策課・内線6756

たい肥作りのポイント



適しているもの

野菜や果物の皮・へた・芯、
コーヒーのかす、茶殻 など



適していないもの

貝殻、骨、種 など



細かく刻む

大きい生ごみは少し刻んでから入ると分解されやすくなります。



かき混ぜる

2日に1回程度全体をよくかき混ぜ、日の光が当たる風通しの良い所に置いておくと、数日～数週間でたい肥に変わります(冬は夏に比べて分解が遅くなる傾向があります)。

黒土を使っている方も



幸町ごみ懇談会の内山さん

市民団体の立川ごみ懇談会は、ホームセンターなどで購入できる黒土を使ってごみ減量に取り組んでいます。黒土に生ごみを入れて混ぜると、たい肥の素と同様に、数日～数週間で分解するそうです。くわしくは、お近くの立川ごみ懇談会の会員にお問い合わせください。

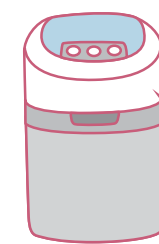
問▶幸町＝内山さん ☎(535) 5666 ▶栄町＝加藤さん ☎(537) 2217 ▶上砂町＝龍田さん ☎(537) 6423 ▶富士見町＝有岡さん ☎(521) 4695

生ごみ処理機器と生ごみたい肥化容器の 購入費を補助します

市は、生ごみ処理機器と生ごみたい肥化容器の購入費の半額(生ごみ処理機器は上限25,000円、生ごみたい肥化容器は上限3,000円)を補助しています。くわしくは市ホームページをご覧くださいか、お問い合わせください。

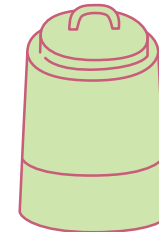
問ごみ対策課・内線6756

補助の対象となる機器



生ごみ処理機器

微生物を利用したり、温風等で乾燥させたりすることで、生ごみを処理する機器(ディスポーザー方式のものを除く)



生ごみたい肥化容器

土中の微生物等を利用して自然発酵・分解し、生ごみを処理する容器

生ごみたい肥化容器 利用者の声

- 燃やせるごみの収集袋はほとんど使っていません。経済的な上に、臭いも減って快適です。
- 完成したたい肥は、庭のお花や野菜を育てるのに活用しています。



生ごみたい肥化容器を使っている石川さん